副詞

副詞は主に連用修飾(しゅうしょく)語になり、状態や程度などを表す。

(例) ゆっくり　歩く(用言)。　もし　外に　出かける(用言)なら、

副詞は次のように分けられる。

・**状態の副詞**…「どのように」という状態や頻度(ひんど)を表す。
擬音(ぎおん)語(擬声語)・擬態語も含(ふく)まれる。

(例) ゆっくり・いつも・ざあざあ(擬音語(擬声語))・きらきら(擬態語)

※「ゆっくりと」「すぐに」の「と」「に」は、副詞の一部と考える。

・**程度の副詞**…「どれくらい」という程度を表す。

(例) とても・もっと・少し・かなり

※程度の副詞は、他の副詞や名詞を修飾することもある。
とても　ゆっくり(副詞)　　もっと　前(名詞)

・**呼応(こおう)**(陳述(ちんじゅつ)・叙述(じょじゅつ))**の副詞**…話し手の判断や述べ方を表す。
下に決まった言い方がくる。

(例) もし(〜なら)・たとえ(〜ても)・全く(〜ない)
きっと(〜だろう)・まるで(〜ようだ)・なぜ(〜か)

連体詞

連体詞は常に連体修飾語になる。

(例) この　花(体言)　　ある　日(体言)

連体詞には次のようなものがある。

(〜の)　この・その・あの・どの
(〜な)　大きな・小さな・いろんな
(〜る)　ある・あらゆる・いわゆる
(〜た・だ)　たいした・とんだ

連体詞にはほかの品詞とまぎらわしいものもあるので注意する。

(例) 大きな(連体詞)　鳥。　　大きい(形容詞)　鳥。
ある(連体詞)　日。　　時間が　ある(動詞)。

修飾語になる品詞

副詞と連体詞はともに修飾語になる品詞だが、修飾語になるのは副詞・連体詞ばかりではないので注意する。

・連用修飾語　ゆっくり(副詞)　話す。　　友達に(名詞)　話す。
明るく(形容詞)　話す。　　静かに(形容動詞)　話す。

・連体修飾語　この(連体詞)　花。　　梅の(名詞)　花。　　咲く(動詞)　花。
赤い(形容詞)　花。　　きれいな(形容動詞)　花。

確認テスト

(1) 例に従って、次の各文に含まれる副詞に〰〰線を引き、副詞が修飾する文節に――線を引きなさい。また、副詞の種類をそれぞれ**ア**～**ウ**から選びなさい。

(例) 私は ゆっくりと 歩いた。

① 今日は ずいぶん おだやかな 日だ。〔　〕

② 彼は 決して そんな ことは しない。〔　〕

③ 私は そっと ドアを 開けた。〔　〕

ア 状態の副詞　**イ** 程度の副詞　**ウ** 呼応の副詞

(2) 次の――線部の品詞の種類を、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 友達と歩く。〔　〕　② のんびり歩く。〔　〕

③ 速く歩く。〔　〕　④ 静かに歩く。〔　〕

ア 形容詞　**イ** 形容動詞　**ウ** 名詞　**エ** 副詞

(3) 呼応の副詞に注意して、解答欄に当てはまる言葉を答えなさい。

① どうやら雨が降り〔　　　〕。

② よもや延期にはなる〔　　〕。

(4) 例に従って、次の文に含まれる連体詞に〰〰線を引き、連体詞が修飾する文節に――線を引きなさい。

(例) ここには いろんな 本が ある。

その 赤い ペンを とって ください。

(5) 次の――線部の品詞の種類を、それぞれ**ア**～**エ**から選びなさい。

① 小さい花。〔　〕　② 小さな花。〔　〕

③ 咲く花。〔　〕　④ バラの花。〔　〕

ア 動詞　**イ** 形容詞　**ウ** 名詞　**エ** 連体詞

(6) 次の「こそあど言葉」の品詞をそれぞれ**ア**～**ウ**から選び、記号で答えなさい。ただし同じ記号を何度使ってもよい。

① こう〔　〕　② ここ〔　〕　③ こちら〔　〕

④ この〔　〕　⑤ これ〔　〕　⑥ こんな〔　〕

ア 名詞　**イ** 副詞　**ウ** 連体詞